

未来を切り開け北高生

学校長 林 俊彦

今年3月11日に発生した未曾有の災害とそれに伴う福島原発の放射能汚染は、今後の日本人の生き方そのものに大きな課題をつきつけました。特に放射能汚染事故は、「国際原子力事業評価尺度」で最悪のレベル7と判定されました。これは25年前に起きたチェルノブイリ原発事故と同じ判定です。チェルノブイリの近くの都市プリピャチなどは、今もなお放射能で汚染され人が生活することができません。原子炉を覆う石棺も25年が経ち損傷が生じ新たなシェルターが必要のようです。25年経った今も事故処理は終わっていないのです。そういう意味では福島原発事故の復興も、何十年という長きにわたるものとなるでしょう。復興の鍵をにぎるのは、言うまでもなく君達若者の柔軟にして大胆な発想と実行力にあります。

北高祭は、まさに未来を切り開く力を養う絶好の場であると思います。今年の北高祭のテーマは、「宙」です。このテーマからは、我々人間も無限に広がる宇宙の一部であるという原理原則の上に立ち、私たちを取り巻く大小すべての事柄を受け入れたうえで、新たな一歩を踏み出そうとする若者の強い意思を感じます

北高祭では、若者らしい柔軟にして大胆な発想のもと仲間とともに創造の喜びを味わってほしいと思います。また、自主自立の精神のもと、より高い文化を創造するとともに、友情の輪を広げ、北高文化を広く社会に発信してほしいと思います。青春時代にこのような取り組みを通して培われた力は、きっと未来を切り開く原動力となることでしょう。

おわりに、生徒会執行部 文化委員会 体育委員会 ボランティア委員会 家庭クラブ 応援リーダーなど北高祭開催のために尽力してくれた多くの皆さんに敬意を表するとともに、北高祭の成功を心から祈ります。